

# ふむふむひがしく



今月は、札幌村郷土記念館に新たに建立された「ウィリアム・ペン・ブルックス博士顕彰碑」について紹介します。

## ウィリアム・ペン・ブルックス博士の功績

「Boys, be ambitious (少年よ、大志を抱け)」で有名なクラーク博士の創設した広大な農校園（札幌農学校の農園）を明治10年（1877年）に引き継いだのがウィリアム・ペン・ブルックス博士です。ブルックス博士は、札幌農学校の近くにあり、早くから入植が進んでいた札幌村（現在の東区南西部）を作付け地として選び、明治15年（1882年）頃、タマネギの種子を配布し栽培技術を指導、タマネギ栽培を札幌村に根付かせる事に大きく貢献しました。このときに栽培していたタマネギが「イエローグローブダンバース」という品種であり、現在も生産されている札幌の特産タマネギ「札幌黄」の原種と考えられています。

## ウィリアム・ペン・ブルックス博士顕彰碑

札幌村・大友亀太郎関係歴史資料55点および史跡、札幌村玉葱関係資料44種59点（札幌市有形文化財）を所蔵する札幌村郷土記念館の保存会（橋場善光（はしば・よしみつ）会長）では、札幌村でのタマネギ栽培に大きく貢献したブルックス博士の功績とその歴史を後世に残したいと考え、札幌村郷土記念館の前庭にある「札幌玉葱記念碑」の隣りに「ウィリアム・ペン・ブルックス博士顕彰碑」を建立し、札幌市へ寄贈しました。



ウィリアム・ペン・ブルックス博士顕彰碑



札幌村郷土記念館保存会の橋場善光会長に感謝状を渡す秋元克広札幌市長



在札幌米国総領事館マーク・ウェベルス首席領事も出席  
保存会から米国在住のブルックス博士のご子孫あてに贈られた記念品を首席領事が代理で受け取る様子。



札幌玉葱記念碑と並び立つ  
ウィリアム・ペン・ブルックス博士顕彰碑

札幌の歴史、東区の歴史が感じられる場所です。ぜひお立ち寄りください。  
(札幌村郷土記念館 東区北13条東16丁目2-6 ☎782-2294)

広告